

第104回 ごみ収集パイプライン利用者の会

1. 会議の目的

今回の会議の目的は、現在のパイプラインの状況と芦屋市のごみ政策を共有し、今後のごみ収集の方向性について共通認識を形成することにあります。特に、パイプライン施設の老朽化が進む中で、将来に向けた代替収集方法の検討が重要な段階に入っています。そのため、芦屋市のごみの現状、ワーキンググループによる実証実験の準備状況、そしてごみ問題と地球温暖化との関係について整理し、皆様と同じ問題意識を持つことを目的とします。

現状認識

- ・パイプラインの老朽化
- ・障害増加
- ・使用期限あり
- ・維持費の増加



2 情報共有

芦屋市のごみの現状



パイプラインの運転状況



地球温暖化とごみ
(3Rの重要性)



3 議論する課題

- ・将来のごみ収集方法
- ・代替方式の検討
- ・住宅形態ごとの対応
- ・住民の理解と参加



4 NEXT STEP

ワーキンググループ



モニター実証実験



将来のごみ収集方法の検討